



学校図書館だより



2015年9月 17日
 横浜市立森の台小学校
 校長 田中 公明
 図書主任 清水あゆみ
 学校司書 近江弥穂子

No. 5

夏休みが終わり3週間あまり。日に日に秋らしい気候となりました。今年の夏休み前の本の貸し出しが、1682冊、うれしい限りです。白ごろの貸し出し数を見ても、本に親しんでいる児童が増えていることがよく分かります。これからは「読書の秋」ですので、秋が深まっていく中で、更に増えていくことでしょうか。この時期に、家族で同じ本を読んだり、おすすめの本を読みあたりしてみたいはいかがでしょうか。お互いにお気に入りの一冊に出会えたら素敵ですね。

図書室からのお知らせ

●学校図書館に読売KODOMO新聞とジュニアエラが入ります。

●はまっ子読書ノートの本がそろいました。

なにを読もうか迷った時には、まず、はまっ子読書ノートの本コーナーに行ってみよう!

先生のおすすめ本

池田先生

百崎先生 (6-4)

高橋先生 (6-5)

左東先生 (6-6)

「ろくべえまってるよ」「おじいちゃんがおばけになったわけ」「ハリーポッターシリーズ」「どうぞのいす」

灰谷健二郎 文

キム・フォップス・オーカソン文

JK・ローリング作

香山美子文

子ども達が自分たち
 の方だけで、穴に落
 ちた犬のろくべえを
 助けようとしています。
 うまくいくな?

死んでしまった
 おじいちゃんが
 わすれ物に気づい
 たとき、なみだが
 とまりませんでした・・・

学校図書館にあります

何度読み返してもわ
 くわくさせてくれる
 本です。続きが気にな
 って気になって
 仕方ない・・・なぜが
 いっぱい!魔法もた
 っぷり!!登場
 人物もすてき!!
 魅力がたくさんつま
 ったおすすめの本で
 す。

学校図書館にあります

小さいいすを作っ
 たうさぎさんは、
 「どうぞのいす」
 という立てふだを
 たてて、野原の木
 の下にいすを置
 きました。あるひ、
 ろばさんがやって
 きて・・・

学校図書館にあります

トピックス ～太宰治（だざいおさむ）～

最近、太宰治（本名：津島修治）の手紙が見つかりました。3通の手紙のうちの1つは4メートルもの巻紙に書かれており、どれも、芥川賞に自分の作品を選んでほしいといった内容の手紙だったそうです。高校時代に芥川龍之介に夢中になった太宰治は、青森県の県下有数の大地主の子として生まれました。16歳の頃から小説やエッセイを同人雑誌に書き始め、その後、上京して東京大学の仏文科に入学します。しかし、大学にはほとんど通わず、学生運動に没頭し、また人生に対する絶望感から何度も自殺未遂をはかりました。それから後、井伏鱒二に教えを受け、文学で身を立てることを志します。

戦前の作品としては、芥川賞候補になった「逆行」、そして27歳のときに遺書のもりで書いたという「晩年」に始まり、教科書などでも有名な、「走れメロス」、「富嶽百景」、「駈込み訴え」、「津軽」などがあります。戦後、彼の作品は更に深いものとなり、太宰独特の世界観が反映されている「お伽草紙」、没落貴族を描いた「斜陽」、そして死後に刊行された「人間失格」、「グッド・バイ」などの名作を次々に発表しました。太宰は結局切望していた芥川賞を受賞することはなく、むしろそのことにより彼の作品は深みを増したとも言われています。彼の死は玉川上水への入水自殺でしたが、これは過去4回の自殺未遂の果てに行われたものでした。太宰の墓は前回登場した森鷗外と同じ東京都三鷹市の禅林寺にあり、鷗外の墓の斜め向かいに建立されています。

学校図書館には「走れメロス」があります。是非手にとってみてください。

今月のおすすめの本

「12歳たちの伝説」

後藤竜二著

「ふたりのロッテ」

エーリヒ・

ケストナー著

「一休さん」

杉山亮文

長野ヒネ子絵

「パニック学級」と呼ばれていた5年1組。担任は入院したまま2学期からこなくなった。そして何人もの先生に見放された。同じメンバーで今日から6年1組。新しい春が来ても教室をとびかう紙ヒコーキはくならない。でも本当はみんなそんなクラスにうんざりだった。元にもどれるチャンスがほしかった・・・

ある夏休み、おてんばでゆかいなルーゼは、スイスに林間学校にいきます。そこへ、ルーゼにそっくりなロッテがやってきて、なんと二人は姉妹ということが判明！父と母の秘密をした二人は、ある秘密の計画を思いつきますが・・・

一休さんはとんちがとくいなお寺のこぞうさんです。とんちでいろんなことを解決します。ある日、一休さんはごちそうに招かれますが、じんべえさんの屋敷にいく橋のうえには「このはしわたるべからず」という立て札が・・・

編集後記

夏休み前の7月13日月曜日、返却期限を過ぎた本が202冊ありました。返してもらえないまま夏休みになってしまう本も出てしまうかとも思いましたが、先生方にお声がけ頂いたりなどして、なんと5日後の7月17日金曜日には未返却の本がゼロになったのです。これだけの規模の学校で、しかも5日間で未返却者ゼロというのは素晴らしいことです。おかげで大変うれしく夏休みに入ることができました。

最近では貸出期限を過ぎて本を返しに来る時に「遅れてすみません」と言ってくれたり、返却期限当日に本を忘れてしまうと「本を忘れてしまいました。」と学校図書館まで言いに来てくれたりする児童が増えたと感じます。学校図書館を利用しながら、公共のルールも少しずつ身につけてくれたらいいと思います。学校司書 近江